

## ちょうめいじ 長明寺

白雉年間(652年頃)、法道仙人により開基されたとされる観音霊場で、ご本尊として十一面観世音菩薩、脇仏には不動明王・毘沙門天が安置されています。平安末期、源頼政が長明寺を厚く尊崇し、鎌倉時代には7堂伽藍36坊があったと伝わります。現代の本堂(A)、阿弥陀堂、鎮守社、鐘楼、仁王門(山門(B))は、天正17年(1589年)の再建と伝わり、仁王像は、京の大仏師藤原右京康徳による寛文7年(1667年)の作とあります。現在、塔頭寺院として寶光院(C) 寶仙院(D) 仲正院(E)があります。  
★春の桜、4月下旬～5月のつつじ、新緑、秋の紅葉と、頼政池、金城池に映える四季折々の風景は特におすすめです。

## よりまさこう たかまつ 頼政公と高松

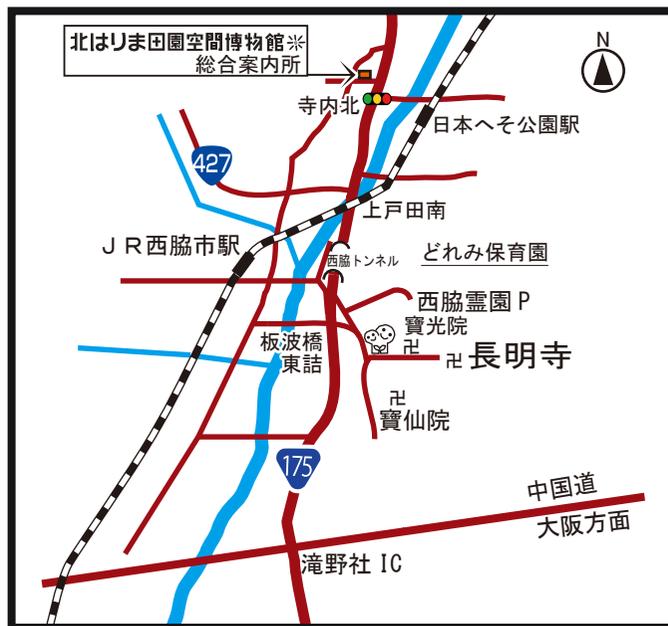
保延2年(1136年)頼政はこの地を訪れ、阿弥陀、八幡大菩薩の社宇を建立しました。

仁平3年(1153年)夏の夜毎丑の刻、京の東三条の空に現れた黒雲が御所の紫宸殿をおおい、鶴の鳴き声が聞こえてくると、近衛天皇は薬も祈祷の効もなく、うなされ苦しみ続けました。「雲の中に潜む妖怪の仕業である」と考え、弓の名手である頼政に妖怪退治が命じられました。神仏に願をかけた頼政が、心魂こめて黒雲に向かって矢を放つと見事命中。落ちてきた怪物は体は狸、頭は猿、尾は蛇、手足は虎の姿であったといひます。

頼政公は、益々長明寺をうやまい、境内に阿弥陀如来をお祀りする一字を建立しました。頼政は平清盛の信頼も厚く源氏としては破格の従三位まであがりますが、平家の専横を良しとせず、平家打倒を計画します。しかし計画が露見し、宇治平等院の戦いで敗れ76歳の時自害、一旦宇治平等院に葬られますが遺言に従って、郎党により遺骨の一部が長明寺阿弥陀堂の近くに葬られました。

時たつて慶長年間(1600年頃)、池田輝政が長明寺境内に溜池の造成を命じたことで墳墓と石槨が破壊、その折、頼政の人骨とひと振りの剣が発見され、おおよそ100年後に円形古墳上部に頼政公の墓が再建されました。

## アクセス



- 北はりま田園空間博物館 総合案内所へは
  - ・北近畿豊岡自動車道水上インターからR175を南へ車で30分
  - ・中国自動車道滝野・社インターからR175を北へ車で約20分
  - ・JR加古川線「日本へそ公園駅」から徒歩約20分
- 長明寺へは
  - ・R175、板波橋東詰め信号より東へ西脇霊園駐車場3分
  - ・JR西脇市駅から歩いて15分

## もっとお知りになりたい方は

北はりま田園空間博物館発行「まるごとガイド」「北はりま魅力探訪紀行」、「でんくうガイドマップ」、または、ホームページをご覧ください。

## お問い合わせ

### NPO法人北はりま田園空間博物館\*

北はりま  
田園空間  
博物館

〒677-0022 兵庫県西脇市寺内517-1  
TEL: 0795-25-2370 FAX: 0795-22-2123  
URL: <http://www.k-denku.com>  
E-mail: [jk@k-denku.com](mailto:jk@k-denku.com)

- ・営業時間: 9時～19時(11月～2月は9時～18時)
- ・年末年始以外無休

気軽に楽しめる半日コース No.2

## 高松山長明寺 頼政公ゆかりの里 を歩く



頼政 又エ退治の像

## ぶらぶら探検マップ

北はりま田園空間博物館\*

ぶらぶら探検マップ  
**高松山・長明寺**  
 源頼政ゆかりの地・四国88ヶ所



**西国八十八ヶ所霊場**

仲之坊住職、教順師は求道の念厚く、四国八十八ヶ所を度々巡拝、近郷の篤志家を呼び、四国八十八ヶ所を模して瀬戸内海や室戸岬 満濃池に見立て、高低差 40m、所要時間約 50 分の巡拝路が文政 7 年 (1824) に開創しました。



4月29日頼政祭りイベント



長明寺山門(B)



宝光院(C)・桜

▲ 印は歌碑を示す